

2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4572 URL https://www.carnabio.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉野公一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)山本詠美 (TEL)078-302-7075
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	2,862	387.7	1,357	—	1,346	—	1,113	—
2018年12月期第3四半期	586	21.4	△762	—	△773	—	△822	—

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 1,112百万円(—%) 2018年12月期第3四半期 △823百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2019年12月期第3四半期	円 銭 104.16	円 銭 102.07
2018年12月期第3四半期	△85.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	5,128	3,487	67.7
2018年12月期	1,770	887	49.7

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 3,473百万円 2018年12月期 880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,038	302.6	313	—	279	—	214	—	20.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期3Q	11,282,400株	2018年12月期	10,139,600株
2019年12月期3Q	5,095株	2018年12月期	2,065株
2019年12月期3Q	10,686,332株	2018年12月期3Q	9,589,498株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が属する製薬業界においては、米国FDA (Food and Drug Administration) による2018年の新薬承認数が59件と、前年の46件に比べて大幅に増加しており、そのうち低分子医薬品の承認数が60%を超えるなど、当社が研究開発を行っている低分子医薬品の研究開発は引き続き活況を呈しております。その成果としてFDAにより承認された新薬のうちBreakthrough Therapy (画期的治療薬) の指定を受けたものが20%を超える等、非常に有効性の高い新薬の承認が相次いでおります。特に、がん領域においては、免疫チェックポイント阻害薬の相次ぐ承認や適応疾患領域の拡大に加え、免疫チェックポイント阻害薬とキナーゼ阻害薬などの併用療法による治験が活発に行われており、がんを標的とした分子標的薬の研究開発から画期的な新薬が生み出されることが期待されています。

このような状況下、当社は、本年6月に米国のギリアド・サイエンシズ社 (以下、ギリアド社) と、当社が研究開発した新規がん免疫療法の創薬プログラムの開発・商業化にかかる全世界における独占的な権利を供与する契約を締結し、その対価である契約一時金20百万ドルを第2四半期連結会計期間に売上計上いたしました。当社は今後、開発状況や上市などの進捗に応じて追加的に最大で450百万ドルを受け取ることになり、さらに、本プログラムにより開発された医薬品の上市後の売上高に応じたロイヤリティを受け取ります。また、当社は、上記ライセンス契約とは別に、ギリアド社による当該プログラムの開発をサポートするために、当社が開発した脂質キナーゼ阻害剤に関する創薬基盤技術を有償で、ギリアド社に一定期間、独占的に供与します。

当社が開発し、シエラ・オンコロジー社 (以下、シエラ社) に導出した、がんを標的とするCDC7阻害剤AS-141 (シエラ社の開発コード: SRA141) につきましては、米国においてIND申請 (新薬臨床試験開始届) が完了しており、シエラ社は大腸がんを対象とした治験開始 (フェーズ1/2) に向けた準備を進めています。当該フェーズ1試験においてSRA141が最初の患者に投与されたときに、マイルストーンとして4百万ドルが当社に支払われる契約となっております。シエラ社は、SRA141の開発を引き続き前進させるため、様々な選択肢を戦略的に検討中と発表しており、当社はSRA141の治験が早期に開始されることを期待しております。

さらに、大型新薬 (ブロックバスター) の可能性がある当社の2つのBTK阻害薬プログラムが前臨床試験段階にあり、欧米での治験申請に向けた研究開発を積極的に進めております。免疫炎症疾患を標的としたBTK阻害剤AS-0871については、欧州における臨床試験開始を目的として、GLP基準 (医薬品の安全性に関する非臨床試験の実施基準) での各種毒性および安全性試験がほぼ終了し、現在、2019年中のCTA申請 (欧州における臨床試験許可申請) を目指して申請資料の作成を行っております。引き続き、早期の臨床試験開始を目指して、外部機関と連携しながら臨床試験実施に向けて準備を進めてまいります。イブルチニブ耐性の血液がんを治療標的とする次世代BTK阻害剤AS-1763については、GMP基準 (医薬品等の製造管理及び品質管理の基準) での原薬合成が終了しており、引き続き臨床試験開始に必要な各種前臨床試験を進めております。

当社のもう一つの事業の柱である創薬支援事業においては、国内地域においては、顧客ニーズを掘り起こすべく積極的に顧客訪問を実施するとともに、北米地域においては新規顧客の開拓を目指して販促活動を展開してまいりました。また、製品別ではタンパク質製品の売上拡大を図るべく当社グループのオンリーワン製品であるビオチン化タンパク質の製品ラインナップの拡充に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,862百万円 (前年同四半期比387.7%増)、営業利益は1,357百万円 (前年同四半期は762百万円の営業損失)、経常利益は1,346百万円 (前年同四半期は773百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,113百万円 (前年同四半期は822百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失) となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

①創薬事業

当社独自の研究開発から見出された化合物を含む新規がん免疫療法の創薬プログラムに関して、ギリアド社と、当該プログラムの開発・商業化にかかる全世界における独占的な権利を供与する契約を締結し、その対価として契約一時金20百万ドル (2,128百万円) を当第3四半期連結累計会計期間に受領いたしました。また、前臨床研究段階にある創薬プログラムを中心に研究開発に積極的に先行投資を行い、当事業の研究開発費は748百万円 (前年同期は755百万円) となりました。その結果、売上高は2,128百万円 (前年同四半期は50百万円)、営業利益は1,099百万円 (前年同四半期は876百万円の営業損失) となりました。

②創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービス及びセルベース・アッセイサービスの提供等により、創薬支援事業の売上高は734百万円（前年同四半期比36.8%増）、営業利益は257百万円（前年同四半期比125.5%増）となり、第3四半期連結累計期間として過去最高の売上高となりました。売上高の内訳は、国内売上は184百万円（前年同四半期比19.8%減）、北米地域は404百万円（前年同四半期比130.9%増）、欧州地域は64百万円（前年同四半期比18.1%減）、その他地域は81百万円（前年同四半期比52.9%増）であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,128百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,358百万円増加しました。その内訳は、現金及び預金の増加3,249百万円、売掛金の増加97百万円等であります。

負債は1,640百万円となり、前連結会計年度末と比べて757百万円増加しました。その内訳は、1年内返済予定の長期借入金の増加66百万円、未払法人税等の増加220百万円、長期借入金の増加71百万円等であります。

純資産は3,487百万円となり、前連結会計年度末と比べて2,600百万円増加しました。その内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,113百万円の計上、資本金の増加740百万円、資本剰余金の増加740百万円等であります。また、自己資本比率は67.7%（前連結会計年度末は49.7%）となりました

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月25日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の2019年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,355,254	4,604,323
売掛金	87,881	185,881
商品及び製品	75,040	72,769
仕掛品	3,342	3,698
原材料及び貯蔵品	32,398	28,014
その他	117,671	128,825
流動資産合計	1,671,589	5,023,512
固定資産		
有形固定資産	18,729	21,649
無形固定資産	183	286
投資その他の資産	79,587	82,868
固定資産合計	98,501	104,804
資産合計	1,770,090	5,128,317

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	478	7,555
1年内償還予定の社債	28,000	28,000
1年内返済予定の長期借入金	204,814	270,972
未払金	134,988	110,003
未払法人税等	19,399	239,994
その他	12,458	448,342
流動負債合計	400,139	1,104,867
固定負債		
社債	116,000	88,000
長期借入金	337,755	409,527
資産除去債務	26,700	36,112
その他	2,041	1,925
固定負債合計	482,497	535,564
負債合計	882,636	1,640,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,591,568	4,332,118
資本剰余金	2,409,593	3,150,143
利益剰余金	△5,117,482	△4,004,433
自己株式	△117	△152
株主資本合計	883,563	3,477,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△758	△255
繰延ヘッジ損益	—	△134
為替換算調整勘定	△2,567	△3,349
その他の包括利益累計額合計	△3,326	△3,739
新株予約権	7,216	13,949
純資産合計	887,453	3,487,884
負債純資産合計	1,770,090	5,128,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	586,862	2,862,260
売上原価	178,918	150,254
売上総利益	407,943	2,712,006
販売費及び一般管理費	1,170,699	1,354,991
営業利益又は営業損失(△)	△762,755	1,357,015
営業外収益		
受取利息	15	320
受取配当金	274	283
助成金収入	246	—
為替差益	—	6,211
その他	262	162
営業外収益合計	799	6,978
営業外費用		
支払利息	8,245	5,628
支払保証料	1,384	1,362
株式交付費	557	5,078
新株予約権発行費	—	5,465
為替差損	935	—
その他	56	330
営業外費用合計	11,179	17,864
経常利益又は経常損失(△)	△773,135	1,346,129
特別損失		
減損損失	46,946	25,936
特別損失合計	46,946	25,936
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△820,081	1,320,192
法人税、住民税及び事業税	2,971	207,260
法人税等調整額	△125	△116
法人税等合計	2,845	207,143
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△822,927	1,113,049
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△822,927	1,113,049

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△822,927	1,113,049
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△632	503
繰延ヘッジ損益	—	△134
為替換算調整勘定	499	△782
その他の包括利益合計	△132	△413
四半期包括利益	△823,060	1,112,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△823,060	1,112,635

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が23,620千円、資本剰余金が23,620千円増加しました。また、当社の取締役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行い、資本金が47,210千円、資本剰余金が47,210千円増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が3,297,318千円、資本剰余金が2,115,343千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が719,176千円、資本剰余金が719,176千円増加しました。また、当社の取締役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行い、資本金が21,372千円、資本剰余金が21,372千円増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が4,332,118千円、資本剰余金が3,150,143千円となっております。